

## ◎ 事故車両の修理における部品修理とリサイクルパーツ活用を通じたCO2削減

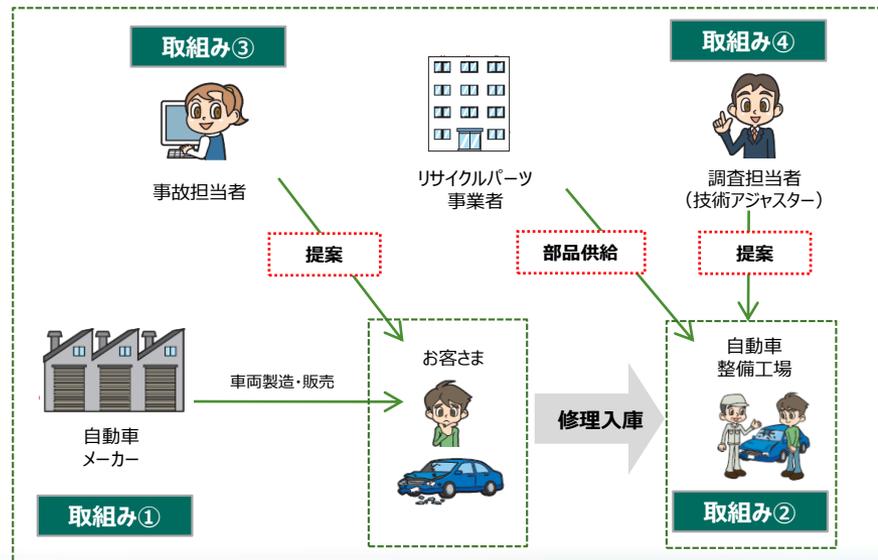
背景/目的	関連するSDGs
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 事故車両の修理において損傷した部品の取替を行った場合、<b>部品廃棄と製造に係るCO2排出量の増加</b>につながる</li> <li>□ 事故車両の修理において、<b>損傷部品の修理またはリサイクルパーツの活用を推進することにより資源の有効活用とCO2排出量の削減</b>に貢献</li> </ul>	

事故車両の修理に係る全てのプロセスを対象とした取組みを推進しています

- 取組み①** ・ 事故車両の修理に関する情報を自動車メーカーへ提供
- 取組み②** ・ 自動車整備工場向けに事故車両の修理に関するセミナーを実施
- 取組み③** ・ 事故担当者によるリサイクルパーツ活用提案
- 取組み④** ・ 調査担当者による部品修理・リサイクルパーツ活用提案

詳細  
別紙参照

取組み内容



お客さま満足



地球環境保護

取組みの成果

全社員で共有するKPIとしてCO2削減量を開示し、全社員一丸となって取組みを推進

<2018年 2-12月実績>

**CO2削減量 : 19,173,465kg**

- ・ 杉の木換算 : 1,369,533本分
- ・ 東京デ「イ」ニランド&シー : 約30 個分 (1個: 約100ha)

⇒ **2017年度実績比 : 115%と進捗**

<CO2削減量算出根拠>

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合が作成した算出口ジックを用い、当社の損害調査結果と掛け合わせることでCO2削減量を算出



## ◎ 事故車両の修理における部品修理とリサイクル部品活用を通じたCO2削減

### 取組み① メーカー向け

・事故車両の修理に関する情報を自動車メーカーへ提供

調査業務により得られた修理に関する情報を自動車メーカーへ提供



修理しやすいクルマづくり提案

	提案件数
2015年度	1,402
2016年度	1,695
2017年度	1,433
2018年12末	909
合計	5,439

壊れにくい、壊れた場合でも最小単位の部品取替で修理対応可能な構造へ変更

ヘッドランプ補修用部品の細分化



### 取組み② 整備事業者向け

・自動車整備工場向けに事故車両の修理に関するセミナーを実施



<セミナーニュース>



<2018年 2-12月 セミナー実績>

- ・回数 : 全国で46回
- ・参加工場数 : 301社
- ・参加者数 : 602名

### 取組み③ 事故担当者向け

・事故担当者向けに資料提供・体感研修を実施

<提案資料>



説明用資料

<体感研修>



リサイクルパーツ工場訪問

### 取組み④ 調査担当者向け

・調査担当者向けに情報提供・集合研修を実施

<各種情報による知識習得>

情報データベース

<集合研修>



修理手順の確認